

SDGsパートナーに認定！！ ～3年生普通科～



SDGs考えた行動を

飛騨高山高で長瀬土建社長が講演

高山市久々野町の建設会社「長瀬土建」の社長が、同市の飛騨高山高校岡本キャンパスで、

SDGsについて、身の回りですることや会社の取り組みを話す長瀬社長。高山市下岡本町の飛騨高山高で

持続可能な開発目標（SDGs）についての講演を行った。

同社は、建設した道路周辺の森林整備や、学生を対象にした工事現場の見学会を行っている。二〇二〇年には県の「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワークリーディングの会員になり、昨年九月には市の「飛騨高山SDGsパートナー」に認定された。

同校がSDGsについて学んでいることから、講演会を企画した。長瀬さんは、三年生六十五人を前に、「世界で一日に二百円未満で暮らす人は、十人に一人」「人間が使える水は、地球の水の0.01%」などと、具体的な数字を交えて世界の現状を紹介。「自分の行動をSDGsに当てはめるとどうなるか、考えてみて」と呼びかけた。

講演を聞いた二村柊羽さん（も）は「自分の少しの行

動で、世界を変えられるかもしれないと思った。（家族で）出掛ける時も、車を

使わないで歩くことを心がけたい」と話していた。

（松沢侑香）